

基本構想

第4章 本市の広域的な位置付け

新しい全国総合開発計画「21世紀の国土のグランドデザイン 地域の自立の促進と美しい国土の創造」では、中部地域について、わが国の中央に位置し、物流、交流機能が立地するうえで有利な条件を備え、先端的な工業・技術集積と美しい自然と歴史的蓄積に恵まれた地域と特徴付けるとともに、「先端的産業技術の世界的中枢としての役割を果たし、全世界を対象に多様な交流が活発に行われる地域」として整備することが期待されています。

また、新しい県地方計画「新世紀へ飛躍～愛知2010計画」では、地域づくりの基本視点として、「自立性・選択性の重視」、「交流の中からの創造」、「人と自然の共生」、「やさしさとうるおいの確保」の4つを掲げ、基本目標として「人と地域の個性が輝き、交流・創造の拠点となる愛知」を掲げています。

更に本市を含む尾張北部地域については、名古屋近郊の住宅地、高速道路などの広域交通の結節点としての優位性、また、あいち学術研究開発ゾーンの北の拠点としての位置付けを生かし、「産業面での拠点性や交流機能の強化を図りつつ、快適で利便性の高い生活環境の整備を進め、産業・文化両面にわたるバランスのとれた都市拠点地区」としての発展を目指すこととされています。

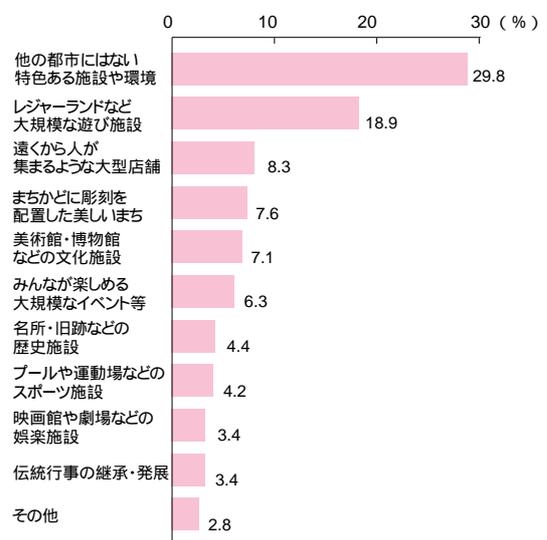
また、そのための主要課題として、「周辺との直結性と地区内の一体性を高める交通基盤の整備」、「研究開発機能の強化と産業の高度化」、「質の高い都市・生活機能を持つ都市基盤の整備」、「地区の特性を生かした水辺と緑のネットワーク形成」が掲げられています。

以上のことから

これからのまちづくりは、

【共生】 自然界のあらゆる動植物が地域や世代にかかわらず共に生きることができるまちづくり

市民意向調査から
魅力あるまちになる
ために必要なもの



●【**自立** 個人や地域、企業が自ら決定し、行動して責任を持つまちづくり】



自立、共生、交流をキーワードに考えていく必要があります。

●【**交流** 魅力ある個性豊かなまちづくりによって、人やモノのいきかうまちづくり】

